

紫藤通信

第66回 入学式

花ちらしの雨となった四月七日、第六十六回入学式が挙行された。三百二名の新入生たちは新しい制服に身を包み、厳かな雰囲気の中、高校生活への期待と不安が入り交じった表情で着席していた。今年度は男女比率で女子が上回り、華やかな印象を感じた方もいたかもしれない。担任より呼名が行われると元氣よく返事をし、まっすぐ前を見据えていた。



学校長は「心も身体も強い太い生徒像」を示し、「学びの調和」の重要性を述べた。続いて岡理事長からは卒業する時には大きな収穫を得られるよう、新入生自身だけでなく、保護者、教員、地域など多角的な取り組みが必要であると説かれた。また、後援会会長、むらさき会会長からも温かい激励の言葉が贈られた。

新入生代表誓いの言葉を述べた上山野山琴香(毛呂山中)は感謝の意を述べた後、「自らの道を切り開く第一歩を踏み出す」と堂々と表明し、より頼もしさを感じられた。式後、新入生はそれぞれのクラスでのホームルームを行い、高校生活の第一歩をスタートさせた。

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

<http://www.yamurakokusai.ed.jp>

新入生へのメッセージ 新入生に期待すること

校長 山田良秋

1年生の皆さんが本校に入学して4ヶ月あまりが経ちました。今は高校生として、自分なりの生活リズムがつかめた頃ではないかと思えます。そこで、今後の皆さんに期待することを記します。

高校生の本分は、まず勉強をすることです。学校での集中した勉強に加え、家庭学習は、「学年+1時間」です。あわせて、部活動にも励んで下さい。高校時代の脳や体への、様々なものの蓄積は、皆さんにとっての将来の宝となります。若い年齢の学習や体験は、今後の人生の基礎となります。また、山村国際高校で出会った仲間を大切にして下さい。多くの高校の中で、本校での出会いはある意味では偶然と言つていいでしょう。その仲間と、良い意味で競い合つて下さい。仲間と一緒に頑張ったことは、結果を抜きにしても、人間関係などが将来の大きな財産になります。

結びに、勉強や部活動等の成果には「忍耐力」と「集中力」が鍵を握ることを付け加えます。皆さんの今後の頑張りに期待しております。

蝟螂

八〇歳を超えた現在でも現役の作家、

筒井康隆の、一九七二年の長編に『俗物図鑑』がある。タブーとされる内容の特殊な能力を持つ「評論家」たちが集まる話で、彼らは当初マスコミの寵児となるが次第にその能力から「世間の良識」の反撃に遭い、迫害され、戦いの末、次々と倒されてゆき、最後は自衛隊に壊滅させられて終わる。同時期の五木寛之や井上ひさしの長編にも共通する「体制への反抗が盛り上がるが、最後に頓挫して終わる」話だ。▼学校という場においても様々な「抵抗」が存在する。職場の不条理に対して、思い通りに行かないことへ、組織を優先することへ、等々。だが、教職に携わる者としては、その抵抗の内心には常に「生徒」を握っていなければならぬ。「生徒のために」を第一に、抵抗の精神を持ち続けていきたい。「俗物図鑑」の主人公の息子の最後の言葉「二世や三世を集めて、またひと騒ぎ起こすつもりだ。必ずやる。それだけは約束するぜ」▼小欄「蝟螂」も「抵抗」をテーマに書き続けられ、今後も新たな書き手で創刊以来の伝統を継承して行く。

新 任 紹 介



着任にあたり

事務長 師岡昇

今年度より山村国際高等学校でお世話になっております事務長の師岡です。

三月までは公立高校に勤務していました。山村国際高等学校に来て、まだわからないことが多く、迷惑をかけてしまっていますが、一日でも早く慣れるよう頑張っています。縁有って山村国際高等学校で勤めることに感謝し、少しでもお役に立ちたいと思います。

生徒の皆さんとは直接係わることがない事務室ですが、安心・安全な教育環境を築くのに欠かす事の出来ない部署の一つです。生徒の皆さんが安心して授業や部活動に取り組める環境作りを心がけて参ります。皆さんの話に耳を傾けながら、学校のために精一杯努力していきますので、宜しくお願

play with Heart !!

担当教科音楽 鈴木晶人

はじめまして。今年度から音楽の授業を担当しています、鈴木晶人です。昨年まで武蔵野音楽大学（のだめカンタービレのモデルとなった音大です。）でクラリネットと指揮を専攻していました。主に、吹奏楽やオーケストラ等の一人ではできない音楽に没頭し、沢山のレパトリーを研究したり、日本各地で演奏したりと、アグレシブな学生生活を送っていました。

出身はウルトラマンやゴジラの生みの親、円谷英二が生まれた地福島県須賀川市で、小さい頃からヒーローと怪獣に囲まれて過ごしていました。「音楽を好きになってほしい」「音楽をより楽しく感じてほしい」をモットーに授業をしていきたいと思えます。素直に音を楽しんで、皆さんの心を豊かにしていけたら幸いです。

す。よろしくお願い致します。

はじめまして

三年三・四組 副担任

佐藤 和恵

本年度より山村国際高校で勤務させていただきましたことになりました、佐藤和恵と申します。三年三・四組の副担任とよさこい部の顧問を担当しています。大学では中古文学について研究していました。また、中学校から大学まで吹奏学部でフルートとピッコロを吹いていました。大学を卒業してから二年間東京にある高校で働き、今回ご縁があつて山村国際高校で働くことになりました。

さて、高校三年間は将来を決める大切な期間でもあります。なんとなく過ごしている人にも、本気で何かに打ち込みながら過ごしている人にも、時間は平等に流れていきます。後悔しないよう、

「今」を大事にしてほしいと思います。皆さんの力になれるよう尽力してまいります。よろしくお願

初めまして

担当教科国語

早見 裕美子

今年から、時間講師として週六時間お世話になっております。

二年四組と三年五組の現代文を担当しています。国語教師となって四十数年、孫のようにかわいい生徒達から連日元気をもたらしています。

山村国際高校の生徒達があと七十年以上は使うであろう国語、その国語の力を高めることが私の使命だと思っております。

月火水の3日間しか学校に来ませんので、授業のクラスの生徒以外はあまりおなじみになれないかと思いますが、廊下ですれ違う時には大きな声

であいさつしていただきますので、よろしくお願ひします。

今年の目標

担当教科 国語 田口 和也

はじめまして。本年度より山村国際高等学校でお世話になります。田口和也です。担当教科は国語です。皆さまとは年齢も近いので廊下などで会

ったら気軽に挨拶して頂けると幸いです。自分自身教員という仕事を始めてまだ数年しかたっていないので、あまり偉そうなことは言えないのですが、一生のうちで高校生というのは非常に重要な時間であると思います。長いようであつという間の三年間なので、充実した高校生活を送って欲しいと思います。

さて、そんな私の目標ですが、そんな皆さんの一生のうちで少しでも記憶に残るような教員になるというのが本年度の目標です。また国語の嫌い

な人にも苦手意識のなくなるような興味、感心の湧く授業を心がけたいと思っております。教員としては、まだまだ未熟者ですが、山村国際高校の生徒の皆さんと共に成長していきたいと思っております。よろしくお願ひします!!

はじめまして

担当教科 理科 佐藤 健二

4月から、1年8組の「化学基礎」、3年6・7組の「化学」を担当しています。福島県出身ですが、埼玉県立高校で33年間教員生活を送らせて頂きました。趣味等は特

にありません。よく生徒さんに質問される「座右の銘」もありません。しかし、年度初めですの

意志をもつこと。強い意志が持てない目標はそれは単なる夢である。夢で終わらせないためにも努力すること。「自分のために、断固迷いなく勉強しなさい!と。努力することによって、みなさんの将来の可能性が末広がりになることを期待します。

はじめまして!

担当教科 理科 小熊 洋瑛

はじめまして。今年度から山村国際高等学校で理科を教えることになりましたオグマです。今年度は主に1年生の化学基礎と2年生の生物基礎を担当します。

高校での理科は中学校までの学習とは異なり、化学、生物、物理、地学など多岐にわたります。目に見えない部分も多いので「理科は嫌い」や「理科は苦手」という人が多いと思います。私はこの1年間の授業を通し

て、理科に少しでも興味を持ち、楽しんでもらいたいと考えています。最後に、これからの高校生活は楽しいだけではなく、つらいこともあると思います。一緒に学校生活を通して楽しい思い出を学んでいきましょう。

かけがえのない時を

養護教諭 湯澤 奈津希

今年度から毎週金曜日保健室で勤務させていただきます。

私は学生時代、勉強が苦手だったので、自分が先生になれるとは思っていませんでした。高校生で進路を決める時も大変悩みました。でも同じように悩んでいる人や困っ

ている人の心の支えになりたいと思います。養護教諭を志望しました。青春真っ只中な高校生には様々な困難があると思います。でも一生懸命考えている姿はとても素敵で、自分

の意志をしっかり持っていたり、理想と現実の間で葛藤できる。高校生、つていいなと感じます。生徒の皆さんのかけがえのない時を共に笑顔で過ごせる様、私は養護教諭として全力でサポートしますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

初めまして

根岸 俊暢

今年度よりお世話になります。根岸俊暢と申します。私は三年生しか担当しておりませんので、知らない方も多いとは思いますが、いつもこの学校の生徒の皆さんから明るいあいさつを頂き、元気をもらっております。

まだわからないことも多くありますが、生徒の皆さんとともに成長出来たらいいなと思っております。先生方、生徒の皆さんよろしくお願ひします。

新入生研修

4月10日から12日まで、長野県茅野市白樺湖において2泊3日の宿泊研修を行った。

あいにく天候にはさほど恵まれなかったものの、全体の行程としては充実した宿泊研修になったように思う。

平成28年度本校の新入生は、女子168名、男子134名の総勢302名を迎えてのスタートとなった。4月7日の入学式から8日、9日と2日間のオリエンテーションを通して10日からの宿泊研修は、生徒にとって精神的肉体的に



もかなり辛かったのではないかと想像できる。しかしながら、この宿泊研修は高校入学という、それまでの義務教育とは明らかに違った場を理解してもらい、以後3年間に渡る高校生活の基礎として生徒各々の中に定着させてもらいたいと思っている。またクラスに慣れ、学校の規則を理解してもらおうのにもとても重要な学校行事であると考えている。

近年学校では、友人間でのコミュニケーションが上手くとれなかったり、学校やクラスに馴染めないといった生徒達に多く出会う。おそらく今年度の新入生の中にもそういった理由で、小学校や中学校に上手く馴染めなかった生徒もいるのではないかと思うし、現にそういった生徒も多く見かける。高校とは、そういったさまざまな事情を抱えた生徒たちが、地域を超えて集まってくる場であり、自分以外の、しかも自分とは違った同年代の仲間と出会う場でもある。そのスタートとして、



この2泊3日の宿泊研修は生徒それぞれの新たなスタートを切るのに有効に働いてくれるよう、また3年間をこの学校で過ごして行くのだという気持ちをは是非持つてもらえるよう、一学年の担任をはじめとする教員一同、心を込めて厳しく生徒たちに接する場でもあったと思う。

幸いなことに3日間、病人けが人もなく2泊3日の宿泊研修を終えて帰ってきた。保護者の方々にとっても、さぞや心配のことであられただろう。ほっとした表情で帰路に着く生徒たちの姿を見ていてそう思った。



連休の合間、五月二日(月)本校第一グラウンド・体育館にて球技大会が実施されました。A、Gコートに分かれ、熱戦が繰り広げられました。各コートの優勝クラスは、次の通りです。

◆女子

- Aコート 二年五組A班
- Bコート 三年一組A班
- Cコート 三年四組B班

◆男子

- Dコート 三年二組A班
- Eコート 一年七組C班
- Fコート 三年四組D班
- Gコート 三年四組D班

生徒一人一人全力で頑張っていました。



熱い季節です!! 全力勝負の体育祭



六月四日(土)、『Over the Top』の先に勝利があるのテーマのもと、第六十一回体育祭が行われた。当日は天候に恵まれ、体育祭にける山国生の意気込み、中心となる三年生の情熱は多くの人たちに伝わった。

実行委員長の武者壮輝君の選手宣誓により、熱い戦いに火蓋が切られて落とされた。最初の種目「男子200m走」・「女子100m走」から全力に取り組み姿勢がみられた。今年から新たに加わった借り物競争など出場選手全員が真剣に取り組み、好勝負を展開した。午前中最後の種目は、「三年生のダンス」であった。原田先生の指導のもと三年生が協力し、躍動感あふれるダンスを披露した。表情豊かに声援にこたえ、会場の雰囲気盛り上げた。

午後は、クラス全員参加の「大縄跳び」、「タッチダウンリレー」、



「女子四〇〇mリレー」・「男子八〇〇mリレー」が行われた。リレーには男女とも教員チームも参加し、クラスの代表として参加した選手とともに競い合い体育祭最後の種目を盛り上げた。

日差しが強く照り返すグラウンドの中、全校生徒が汗を流し、勝負にかける意地と根性が強く印象に残った体育祭であった。その結果、手に汗握る好勝負を演出し、盛況のうちに終了した。

競技に、演技に、応援と山村国際高校の全生徒が精一杯取り組む姿勢には心を打たれた。多く感動を与えた体育祭であった。結果は、次のとおりである。

男子優勝三年二組・二位三年六組・三位二年四組
女子優勝三年五組・二位三年八組・三位二年二組
全生徒が活躍した体育祭でした。

教育実習を終えて

栗田 征也

私は、高校を卒業してから4年間大学で教職の講義を受け、母校である山村国際高校で三週間の教育実習をやらせていただきました。大学での模擬授業で練習を重ねて、実習に挑みましたが、実際の生徒を前にすると思い通りにいかない事も少なくなく、この実習で様々な体験をし、講義だけでは気付くことのできない自分の足りなかった部分や教員の多忙さなど、大変貴重で掛け替えのない三週間を過ごすことができました。進路を悩む生徒や、やりたいことを決めた生徒などにも話をすることができました。

これを読んでくれている生徒がいるとするなら、高校生活はこれからの人生の中でターニングポイントになることは間違いないと思います。何になりたいか、将来が見えてなくても、今の生活を過ごす中で、日々の経験は大切なものになるはず。自分も高校時代に教師を目指す事決めました。将来が見えてなくても目指したいものを見つけ頑張ってみてください。

住田 慎治

三週間の実習が終わり、私には多くの課題が見つかりました。それは授業内容だけでなく、生徒指導など様々な面においてです。授業ではうまくいかないことが多かったですが毎時間、授業を重ねるごとに前回より良い授業ができたのではないかと感じることはできました。それはこの短い期間でも少し成長することができた証だと思います。

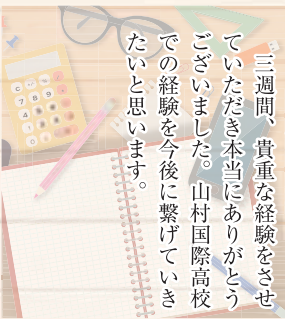
私は生徒から慕われる教員になりたいと思っています。しかし、生徒を甘やかすことで慕われる教員にはなりたくありません。生徒は甘やかしてくれる教員のこと好むだろうし、厳しい教員のこと嫌うと思います。私はこの実習を通して、生徒が正しい判断、行動が取れなくなってしまうぐらいなら、嫌われてでも厳しくしつかりとした指導ができる教員になろうと強く感じました。

藤川 昌也

二週間の実習期間の中で、私は多くのものを、たくさんの人達から学んだと思います。初めての授業を行った際には、大学で学んだ知識の殆どが通用せず、ある種の洗礼のようなものを受けました。五十分間、大勢の人の前で授業を行う、内容を理解させる等、壇上に立って初めて、教師という職業の凄さを肌で感じました。

物事をただ教えるのではなく、内容を理解させながら教える、難解な用語は砕いて説明する、それ以外にもクラスの雰囲気を高揚させ、生徒一人一人の興味と関心を引く。一つの授業を行うにも、様々なスキルを必要とし、それと成り立っていかない、巧妙さと奥深さを、教科指導の担当をしてくださった川尻先生や小野寺先生、授業見学でお世話になった先生方から教えて頂き、私が担当したクラスの生徒からは、勇気と可能性を貰ったと思います。

短い期間の中、私は様々な人達の助けもあって、一歩前に進んだと思います。しかし、そこで做らず、「無知の知」を持って、謙虚さと向上心を忘れずに進んでいきます。



部活動 活動報告

文化部

■ バントワリング部

バントワリング部は、地域のイベント出演や大会出場等、積極的に活動しています。(昨年度大会記録)○8月・全国高等学校総合文化祭出場○11月・第31回埼玉県高等学校バントワリング大会総合優勝○12月・第43回バントワリング大会金賞・ノードロップ賞受賞○3月第41回全日本バントワリング選手権大会(個人)3バトン3位入賞 桐ヶ窪亮太

■ 映画研究部

映画研究部は3年生の部員で活動していますが、今年度3名の1年生が新たに加わりました。活動は自主映画の制作で、脚本を作り、役者を決めて撮影、パソコンで編集して作品を完成させます。作品はコンクールに出品したり、文化祭で上映します。送別会では先生方のお出し物の映画を制作・上映することもありますが、現在は部員が少なく思うように作品作りが進まない状況もありますが、今後の活動を盛り上げていきたいです。

■ 軽音部

バンド単位で1週間に1回、音楽室で行っています。今年度は例年より入部するバンド数が多くなり、放課後に2バンド編成で活動をしていきます。学校での活動は、各バンドの音合わせになり、自宅での自主練習がかなり重要になります。校内での発表は、今年度から部内での選考を実施して、文化祭と送別会のステージで発表してもらいます。目標は、

埼玉県高等学校軽音楽部主催の地区予選突破を目指しています。

■ 華道部

華道部は現在2年生4名、1年生11名の計15名で週に一度水曜日に活動しています。小原流の菅原先生の指導の下でお花のことや花型のことを学びます。文化祭では部員の協同制作で普段はできない大型の生け花にも挑戦し、個人の作品と併に展示して毎年とても好評です。また、年に数回「老人施設やグループホームからの依頼を受け、フラワーアレンジメントの講習という貴重な経験もさせていただいています。

■ 茶道部

茶道部は月曜日と金曜日の活動を通して、「お手前の練習を立礼席を中心に行っています。また仲の良い部員同志の友情を育んだ活動を送っています。文化祭や毎年2月に行われる「坂戸くらし展」で茶席を設けて来場者の方々へ一服おたてしています。日頃のお稽古の発表の場としてお立ち寄り頂ければ幸いです。

■ 写真部

こんにちは、写真部です。フィルム写真からスタートした写真部の活動も、昨年から完全デジタル化し、「狭くて息苦しい」暗室から飛び出し、活発な活動を続けています。新入部員も入り、より一層の活動の充実を目指しています。学校行事での撮影はもちろん、いろいろなコンテストにも出品していきますので、写真に興味のある人、ぜひ一緒に活動しませんか。

■ 書道部

書道部は、現在十四名で週二回活動しています。主な活動内容は、埼玉県の各種展覧会への出品、紫藤祭でのオープンニングパフォーマンスや作品の展示です。昨年度の主な成績は、埼玉書道芸術展において特選二名他人選。私学文化祭において私立中学高等学校協会事務局賞を受賞しました。

一人ひとりが好きな古典作品の臨書に取り組み、筆使いはもちろん、精神的にも成長できるように臨んでいます。

■ 生物部

生物部では抗菌の研究をしています。成果は、高校生バイオサミットやジュニア農芸化学会、また埼玉大や千葉大でも発表をしています。

この成果発表には、ポスター発表と論文発表がある。前者は審査員と論文発表者が大きいに試され、後者は高校生らしく成されたかである。生物部は、この両方で「金賞(第1位)」「優秀賞(第2位)」を受賞している。特に論文大賞では三年間連続の入賞を果たしている。詳細は本校ホームページをご覧ください。

■ 調理部

調理部の活動は、週一回水曜日にを行っています。学年ごとの班編成でミーティングと実習を交互に取り組んでいます。年間を通じて通常の活動の中にコンテスト応募にも力を注いでおり、中でも味彩コンテスト(高校生のお弁当コンクール)です。前年団体として応募し、その中から実際に時間制限の中で、決められた食材を用いて作り上げる実技審査へ出場して入賞し、更に団体賞を受賞することが数年続いており、活動の励みになっています。また障

害者施設へクリスマスマスプレゼントとして吹奏楽団と調理部で、クッキーを施設利用者の方へ贈っています。更にオープンキャンパス・中学生体験部活の協力。更にチーズコンテスト、キーキョコンテスト、バスケット、サーキットの応募もしましたが残念ながら本戦出場には出来ませんでした。今年も引き続き、各種コンテストへのチャレンジをし頑張つてやって行きたいと思っています。

■ イラスト部

部の名称はイラスト部になっておりますが、イラストはもとより、デッサン・油絵・日本画に至るまで幅広く創作活動を行っており、毎年秋に行われる埼玉県私学文化祭では、ポスター原画コンクールにおいて、二年連続で優秀賞を受賞しました。これからは全国的なレベルのもとで発表できる作品に取り組みしていきたいと思っております。

■ 被服部

活動内容 洋裁を中心として作品を製作しています。スカート・ブラウス・ワンピース・ドレス等学年ごとに製作をしています。三年生で製作するドレスは例年私学文化祭に出展をしています。

■ 福祉部

福祉部の活動の中心は月一回の「さかど療護園」への訪問です。この訪問は平成元年の3月に「さかど療護園」から本校の小島先生のところへかかってきた一本の電話がきっかけでした。「在園者に園外への散歩をさせたいのだが、職員だけでは

手が足りないで、誰かボランティアをしてくれる人はいないだろうか」といった内容だったそうです。それ以後、我が部の重要な活動の一部として訪問させて頂いています。

■ 放送部

私たち放送部は一年生二名、二年生五名、三年生三名で活動しています。春と秋に行われるコンクールへの活動をメインに、放送室で一致団結しています。昨年度は県大会のビデオメッセージ部門で、入選を果たすことが出来、現在もコンクールに向けて全力疾走中です。

■ 英語部

English club is working happily and well together to make an English play for the school festival. We are also talking to school students in Canada and America and planning international cooperation.

■ マジック研究部

山村国際高等学校マジック研究部です、私達は基本火曜日の放課後、調理室や事務室前で主にマジック・ジャuggling・バルーンの実習をしております。

現在の発表の場はオープンキャンパスや紫藤祭りのバルーン作成などです、出張も致しますので、もしご要望がありましたらお気軽にお声掛けください、よろしくお願致します。



吹奏学部

一月三十一日、吹奏楽部は、坂戸文
化会館で行われたバレンタインフ
ェスティバルコンサートに出演し
た。本校は、玉ノ丘中学、鳩山中學、
坂戸高校との合同バンドを編成し
ジャズ・ポップス・クラシック他二曲
を演奏した。

当日の、ホールはほぼ満席になり、
熱演に温かい拍手が送られていた。

三月二〇日には、よさこい戸聖
天宮のイベント演奏を行い、坂戸高
校と合同でオーケストラ演奏、他
三曲を演奏、アンコールをいただき
喝采を浴びた。

四月七日には、入学式の式典演奏
を行った。

五月一五日には、さかぞ民商まつ
りに参加、新入部員を迎えての始め
の演奏を行った。

今後、夏のコンクールに向けての
練習が本格的に行われていく。吹奏
楽部の好演に期待したい。

よさこい部

いつも、お世話になっております。
元気いっぱい多くのイベントで
踊っています。よさこい部です。昨
年は多くの新入生が入部し、うらわ
祭りや東松山の陣屋祭りに参加し
て参りました。今年も新たに二十九
名の新入生を加え、全学年で六十名
の大部帯となりました。人数も増え、
新たな曲と振りでも、更にパワフルか
つ、さわやかに多くのイベントに参
加して参りますので、ご声援、どう
かよろしくお願ひ致します。

運動部

居合道部

日二十七年度は、埼玉居合道大
会で二段の部二位、埼玉居合道五段以下

大会で初段の部二位・二段の部二
位という結果を取めた。日二十八
度は一年生六名・二年生一名・三
年生五名の計十二名で活動してい
る。大会での入賞と審査での昇段を
目指して、日々稽古に励んでいると
ころである。

剣道部

剣道部は現在、男子13名女子9名
で活動しています。

夏は福岡県で行われる玉竜旗高校
剣道大会、

春は秋田県で行われる魁星旗争奪
全国高校剣道大会に出場していま
す。市民大会などでは個人戦で優勝
するなど結果を残しています。

その勢いで県大会上位を、そして
インターハイ・関東大会を目指し、
部員一丸となり稽古に励んでいま
す。

陸上競技部

山村国際高校では、高校駅伝(女
子)を強化しています。昨年度は、県
高校女子駅伝で初出場ながら13位
となりました。今年もメンバーがさ
らに力をつけ、県学校総体15000
m 8位、30000m 10位・19位、8
000準決勝進出等の実績を得まし
た。

現在、団体戦である県高校駅伝で
実現可能となった関東大会出場
場に向け、部員一丸となって頑張っ
ています。今後も、本校陸上部へ
ご声援をよろしくお願ひいたしま
す。

男子ソフトテニス部

男子ソフトテニス部は、県大会出
場を目標に技術・体力・精神力の
鍛錬に取り組んでいます。3年生は、
7月16日に実施される埼玉県選手
権(国体選考会)が最後戦となりま

す。満足する結果を残せるよう練習
に励んでいます。昨年度に続き入部
者が10人を超え、益々、活気のある
部活動になっていきます。夏より2年
生を中心とした新体制で目標に向
い切磋琢磨し、活動を行っていきま
す。今後ともご支援、ご協力をお願
ひ致します。

女子ソフトテニス部

本年度の女子ソフトテニス部は、
一学年3名・二学年3名、三学年7
名の計十四名にて活動をしていま
す。団体戦での初戦勝利、個人戦で
の全ペアが一回戦の突破を目標に、
集中して練習に取り組めるように
部員全員が協力しています。夏休み
からは、部員6名と少ない人数とな
りますが、目標に向かい切磋琢磨し
ながら活動を行って参ります。今後
ともご支援、ご協力をお願いしま
す。

サッカー部

5月3日・5日にインターハイ
西部支部予選が行われ2回戦で志
木高校に3対1で、代表決定戦では
朝霞高校に延長戦の末1対0でそ
れぞれ勝利し、2年連続5回目のイ
ンターハイ西部支部予選を突破し
ました。また、県大会は28日から始
まり、練習試合では連敗している浦
和北高校に延長戦の末1対0で勝
利しました。

最後に、試合会場へたくさんの方
の保護者や在校生が応援に来てくれ
て感謝しています。

バレーボール部

女子活動実績
○選手権西部予選(3回戦)
○新人戦西部予選(3回戦、代表決
定トーナメントで敗退)
○春季大会西部予選(1回戦敗退)

○インターハイ西部予選(代表決定
戦に勝利し県大会出場が決定)
県大会で引退となる3年生5名
には、これまでの努力を心から讃え
たい。目標を達成したことへの自信
と誇りを胸に、今後も活躍して下さ
い。

女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は一年
生十人、二年生七人の、計十七人で
活動しています。今年度は四月と五
月に大会がありました。春期大会で
は、一回戦をダブルスコアで圧勝し、
順調なスタート校との試合ではわず
か一点差で敗北しました。インター
ハイ予選では、一回戦は前大会同様
圧勝することが出来ましたが、二回
戦での県大会出場校には残念なが
ら破れてしまいました。

現在新チームになり、県大会出場
を目標に日々練習に取り組んでい
ます。

男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は六月
から新チームとして始動し、現在二
年生三人、一年生十二人、マネー
ジャー二人の計十七人で活動してい
ます。

『シード権の獲得』『県大会出場』
を目標として、現在のところ基礎的
な練習から組織的な練習まで、幅広
く行っています。
百戦錬磨の大塚コーチ指導のも
と、明るく元気に頑張っています。の
で、応援よろしくお願ひします。

ダンス部

ダンス部は、学校内の発表、地域
のイベント、ダンスコンテスト、こ
れらを中心に活動しています。この
四月より九名の新入部員を迎え、計

三十一名で活動しています。現在は、
この夏に行われるコンテストに向
け、全員で取り組んでいます。昨年
度は、全国高等学校ダンスドリル選
手権大会においてヒップホップ女
子部門第三位を受賞しました。今年
度も優勝目指して頑張ります。

硬式野球部

山村国際高校野球部は、創部八年
目を迎えました。本校野球部は、野
球活動をおして基本的な生活習
慣を身につけるとともに、社会のル
ールやマナーを身につけ、社会に貢
献できる人間として自己を高める
活動をしています。また、毎日の学
校生活を大切に、感謝の気持ちを
忘れることなく、一生懸命に努力す
る力を育む活動にも取り組んでい
ます。

白球を追いかけて、高校球児が一
生懸命になれる場所が『甲子園』で
す。全国の高校球児が、甲子園を目
指しています。山村国際高校野球部
員も、日々、甲子園出場に向けて頑
張っています。

是非、山村国際高校野球部で共
力を合わせて甲子園を目指しまし
よう。

フットサル部

フットサル部は、週4日活動して
います。主な活動場所は、学校前の
グラウンドです。月に1・2回程度
外部のフットサル施設や体育館を
利用しています。競技としてフット
サルを楽しむことを念頭に置いて
活動を行っています。

昨年の大会結果は、夏の高校生フ
ットサル大会ベスト8や高校生フ
ットサルフェスティバル決勝大会
(関東大会レベル)に出場するなど
良い成果を残すことができました。

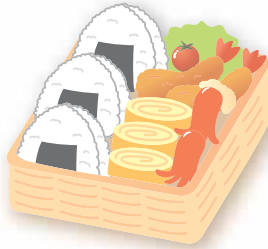
保健室だより

保健室で「今日のお昼はお弁当？それとも何か買ってきたの？」と聞くと、お家の方に作って貰ったお弁当だったり、登校途中にコンビニなどでパンを購入してきたり、学食で食べると、答えも様々です。

保健室でお昼ご飯の内容容を聞くのは、腹痛や下痢、吐き気などの症状があるときに、どんな内容のお昼ご飯で、どれなら食べられそうか、胃腸に負担をかけないか、一緒に考えるためです。

「揚げ物が多かった」

「焼き肉弁当だった」など、お弁当の内容を思い出して教えてください。「油物を避けて、ご飯だけよく噛んで食べようか。」とか、学食だったら「うどんを長めにゆでてもらって素うどん食べてみようか。」などと話しをすることがあります。学校医の陣内孝夫先生に「下痢をしているときの食事は、便の柔らかさを目安にして食べると



よい。」と伺ったことがあります。もし便が泥状なら同じくらい柔らかく炊いたおかゆなどを食べるとういそうです。

保健室では腹痛や下痢の理由以外でも、「今日の昼食は食べづらいな・・・」という人時々お話しをすることがあります。お友達とちよとした行き違いがあったとか、席替えしてから仲のいい人達のグループに入りにくくなっ

たなど、理由は様々です。

「昼休みが始まったらすぐにそばに行つて、一緒に食べてもいい？つて聞いてみたら？」と

か「早弁（昼休み以外に食べる）として昼休みは教室から出ていては？」とか「短時間で食べられるおにぎりにして、ぱぱっと食べちゃったら？」など、どうにか昼食が取れるようにアドバイスをするがあります。それでも「お昼は食べない。いやない。」と返事する人がいます。パンなどでしたら日持ちするかもしれないが、手作りの

弁当はそうもいきません。行く末が気になって「お弁当どうするの？食べないで持つて帰るの？」と聞くと「駅で食べる。」「お母さんが帰ってくる前に食べる。」などと答えます。今まで一度も「捨てる。」と答えた人がいませんでした。お家の方が忙しい朝の時間を割いて作ってくださるお弁当なのかもしれない。そのお弁当を無駄にしちゃいけないという気持ちに伝わってきます。何より「お弁当を食べなかつたらお家の人が心配する」という家族を思いやる気持ちがあるからだと思えます。

因みに「最近、保健室に來ないなあ。お昼どうしてるのかな？」と思つてみると、他のグループに入つて食べていたり、学食で知り合つた友達と一緒に食べている姿を見かけてほつています。



事務室だより

平井 敦嗣

現在事務室では、皆様に今までご提出頂きました「授業料軽減」「就学支援金」について国及び県に提出し、結果を待つている状態です。

この二点の給付金申請について、出し忘れ等ありましたらお気軽にご連絡下さい。また、授業料の納入についてご相談がありましたら、同様にご連絡よろしくお願ひ致します。

【施設費について】

生徒総会要望事項にありました施設費の詳細について説明致します。

本校施設の管理運営に使用する費用で、具体的には光熱水費（電気・ガス・水道）・破損修繕に利用しております。

特に校内電力については、小売電気事業者を選定し、皆様の節電協力も頂き、年々増加する費用を抑えられています。

ただ、最近B館に於いて空調の設定を勝手に変更し、結果として故障対応をする機会が増えております、皆様には節電節水を継続するとともに、機器の適切な操作をお願い致します。